

高速道路の整備により、九州・沖縄産のピーマンの取扱量が増加

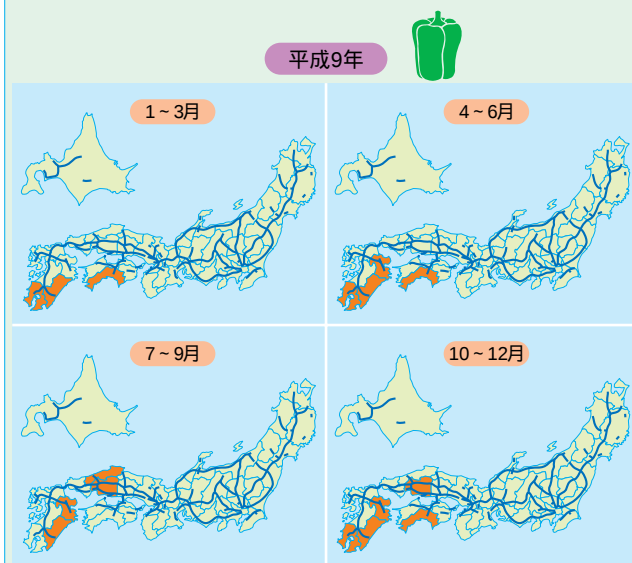
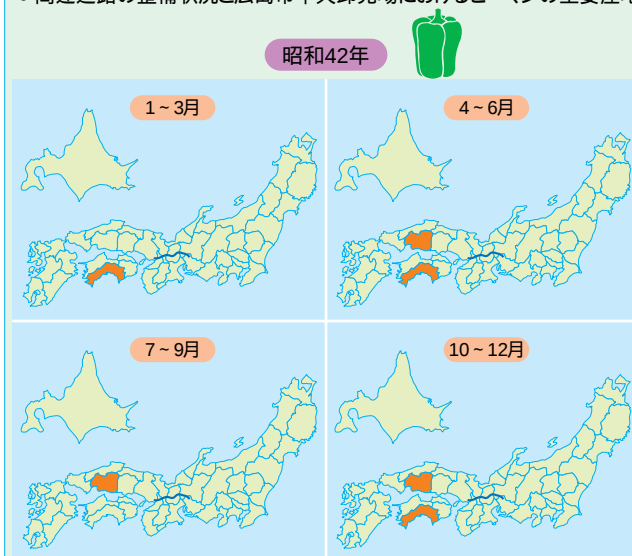
遠い産地からの輸送実現で
大幅に増加した取扱量

- ・広島市中央卸売市場におけるピーマンの取引は、昭和42年には四半期別で最も取扱量が多かった7～9月でも214トン。
- ・高速道路網の整備などにともない九州・沖縄地方からの産品の取扱量が大幅に増加。
- ・平成9年には最も取扱量が少ない10～12月であっても取扱量は239トン。
- ・遠い産地からの輸送が可能になったことで取扱量の大幅な増加が顕著。

● 関連する高速道路の開通経緯

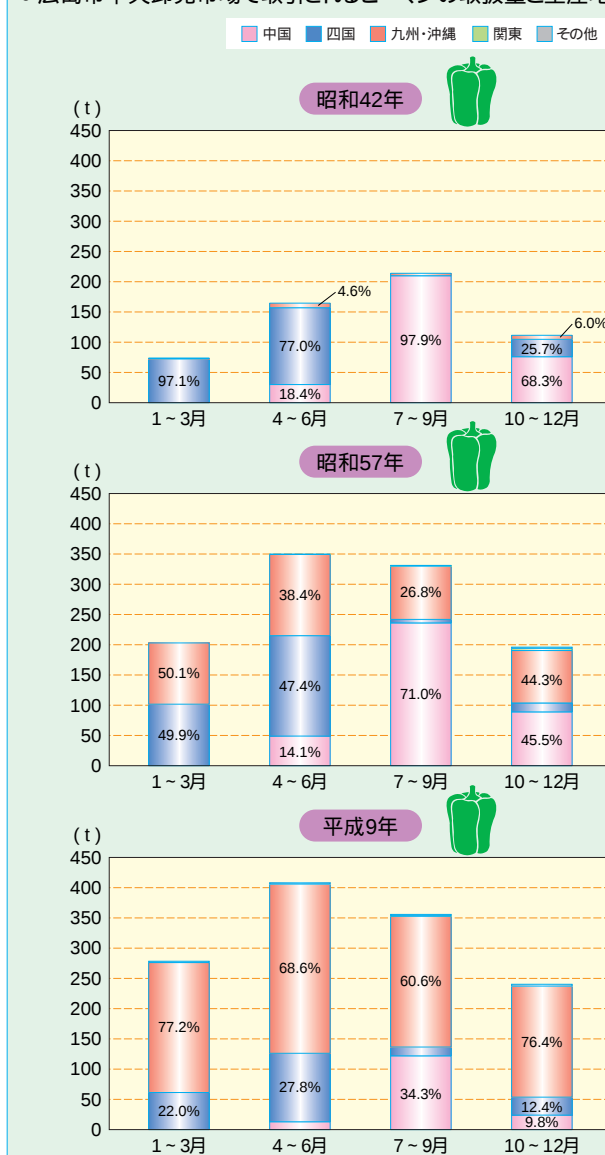
昭和42年時点	名神高速道路	西宮～小牧間のみ開通
昭和48年	関門自動車道	門司～下関間開通
昭和50年	九州縦貫自動車道	鳥栖～古賀間開通
昭和58年	中国自動車道	千代田～鹿野間開通
昭和63年	九州縦貫自動車道	小倉東～八幡間開通

● 高速道路の整備状況と広島市中央卸売場におけるピーマンの主要産地



注 / 取扱量の多い順に、市場におけるシェアが合計で90%以上になる都道府県を表示
資料 / 広島市中央卸売市場年報(各年)

● 広島市中央卸売市場で取引されるピーマンの取扱量と生産地



注 / シェアは小数点第2位を四捨五入
資料 / 広島市中央卸売市場年報(各年)